

No.83

2020

1/17



はちおうじ

JR東労組
八王子地本

八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八地申第9号「甲府駅輸送体制の見直しに関する申し入れ」提出

安全な鉄道を創るため職場からの議論をまきあげよう！

1月17日、提出！

1月27日に、八地申第3号にて説明申し入れ交渉を行ってきました。しかし輸送体制を2徹から1徹に削減されるにも関わらず安全とサービスレベルが向上するという回答でありました。根拠のない駅総体で行うという精神論では安全輸送は行えません。また輸送要員の削減することにより深夜早朝時間帯の輸送障害等の対応を就寝中社員に対応させることが想定されるなど超勤ありきであることが明らかになりました。

私たちは鉄道事業者として駅を利用されるお客さまが施策実施でご不便を感じないよう、何より鉄道安全・労働安全を第一としたサービスの提供が出来るようにしなければなりません。その駅のプロ、担務のプロは経験労働に裏付けされた現場労働の積み重ねにより創られます。その駅で働く社員が安全で安心して働き技術継承・技能伝承できる駅輸送業務体制を創り上げなければ鉄道の根本が揺らぎかねません。私たちは安全レベルの向上のため現場第一線で鉄道輸送を創り出してきています。

◆申し入れ項目◆

1. 鉄道の安全とサービスレベル向上のために、輸送担当を2徹体制とすること。
2. 信号所と構内本部の統合を中止し、他区所との連携や計画作業が集中して行える環境とするため構内本部を下りホームに置くこと。
3. 安全でより良い鉄道サービスが提供できる駅をつくるため、甲府駅組合員の意見を基につくること。

以上



安全な鉄道を組合員の声をもとに
創るためたたかい続けよう！

